



九月 (小) 長月 婁宿

（九月八日白露の節より
月命乙酉七赤金星の月
暗剣殺西の方）

旧七月大
八月大

日	曜日	干支	九星	行事	旧曆	六輝	中段	共宿	下段	日出	入出	満潮	干潮
1日	火	かのえ たつ	五黄	二百十日、関東大震災記念日、防災の日、不成就日	十九	先勝	なる	翼	天おん	5.12	18.10	7.42	12.38
2日	水	かのと	四緑	富山八尾風の盆(1日~3日)	廿	友引	おさん	軫	天おん	5.13	18.08	8.51	12.38
3日	木	みづのえうま	三碧		廿一	先負	ひらく	角	百事吉	5.14	18.07	9.58	12.38
4日	金	みののひじ	二黒	敦賀氣比神宮祭	廿二	佛滅	とづ	亢	天おん	5.15	18.05	11.03	12.38
5日	土	きのえさる	一白	●下弦一八時五四分、十方ぐれ入り	廿三	大安	たつ	氏	大さう	5.15	18.04	12.05	14.58
6日	日	きのと	九紫	旧地藏ぼん	廿四	赤口	のぞく	房	十し	5.16	18.02	13.02	16.02
7日	月	ひのえいぬ	八白		廿五	先勝	みつ	心	母倉	5.17	18.01	13.55	16.02
8日	火	ひのと	七赤	白露八時〇〇分、太田香童開山忌	廿六	友引	みつ	尾	大さう	5.18	18.00	14.42	16.02
9日	水	つちのえね	六白	重陽、多賀大社九月古例祭、救急の日、不成就日	廿七	先負	たいら	箕	大くわ	5.18	17.58	15.25	16.04
10日	木	つちのとうし	五黄		廿八	佛滅	さん	斗	母倉	5.19	17.57	16.04	16.04
11日	金	かのえとら	四緑	二百二十日、三隣七、東京芝大神宮しょうが市(21日迄)	廿九	大安	とる	牛	月とく	5.20	17.55	16.04	16.04
12日	土	かのと	三碧	福岡宮崎官放生会(18日迄)、一粒万倍日	卅	赤口	やぶる	女	ぶく日	5.21	17.54	16.04	16.04
13日	日	みづのえたつ	二黒	●朔一五時四一分、旧八朔、世界の法の日	朔	友引	あやぶ	虚	大さう	5.21	17.52	16.04	16.04
14日	月	みづのと	一白	二日灸、天一天上、不成就日	二	先負	なる	危	十し	5.22	17.51	16.04	16.04

残暑はまだまだ厳しいが、それでも月半ばを過ぎると朝夕涼気を感じよう。この季節、夏場の疲れが表面化したり、暑さのために消化器系統が弱つていたり、とかく健康を害しやすい。健康管理に十分に留意しないと、思わぬ重病になることがある。

また立春から数えた「二百十日」や「二百二十日」があるが、これは農作(稲の開花期)と台風の関係を表している、注意を喚起するようになったわが国独特の呼称である。

【冠】九月九日は五節句の最後、「重陽(九という数字を陽数とした陰陽術による)の節句」と呼ぶように、この日は酒に菊花をひたして飲み、健康長寿を祝うならしくも伝えられている。

【婚】この月から秋の結婚シーズンが始まる。挙式に続く新婚旅行にも快適な気候である。ただ、それだ

日	曜日	干支	九星	行事	旧曆	六輝	中段	共宿	下段	日出	入出	満潮	干潮
15日	火	きのえうま	九紫	老人の日、京都石清水八幡宮祭	三	佛滅	おさん	室	めつもん	5.23	17.49	17.48	17.57
16日	水	きのとひつじ	八白	鎌倉鶴岡八幡宮やぶさめ	四	大安	ひらく	壁	●	5.24	17.47	17.48	17.49
17日	木	ひのえさる	七赤	一粒万倍日	五	赤口	とづ	奎	神よし	5.24	17.47	17.48	17.49
18日	金	ひのと	六白	老人週間(15日~21日)	六	先勝	たつ	婁	天火	5.25	17.45	17.45	17.45
19日	土	つちのえいぬ	五黄	岸和田だんじり祭、岩手水沢駒形祭、社日、子規忌	七	友引	のぞく	胃	母倉	5.26	17.44	17.44	17.44
20日	日	つちのと	四緑	彼岸入り、神奈川寒川神社例祭、空の日	八	先負	みつ	昂	ちう日	5.27	17.42	17.44	17.44
21日	月	かかえ	三碧	●敬老の日、●上弦一七時五九分、秋の全国交通安全運動(30日迄)	九	佛滅	たいら	畢	月とく	5.27	17.41	17.44	17.44
22日	火	かのと	二黒	休日、動物愛護週間(20日~26日)、不成就日	十	大安	さん	觜	母倉	5.28	17.39	17.44	17.44
23日	水	みづのえとら	一白	●秋分の日、秋分一七時二一分、彼岸中日、川柳忌、三隣七	十一	赤口	とる	参	大さう	5.29	17.38	17.44	17.44
24日	木	みづのとう	九紫	結核予防週間、一粒万倍日	十二	先勝	やぶる	井	大さう	5.29	17.38	17.44	17.44
25日	金	きのえ たつ	八白		十三	友引	あやぶ	鬼	大さう	5.30	17.36	17.44	17.44
26日	土	きのと	七赤	彼岸明け、和歌山日前・国懸祭	十四	先負	なる	柳	十し	5.31	17.35	17.44	17.44
27日	日	ひのえうま	六白	十五夜、小田原道了尊大祭	十五	佛滅	おさん	星	大さう	5.32	17.32	17.44	17.44
28日	月	ひのとひつじ	五黄	●望一一時五一分	十六	大安	ひらく	張	●	5.33	17.30	17.44	17.44
29日	火	つちのえさる	四緑	曹洞宗兩祖忌、天しゃ、一粒万倍日	十七	赤口	とづ	翼	よろづ	5.34	17.29	17.44	17.44
30日	水	つちのと	三碧	不成就日	十八	先勝	たつ	軫	大さう	5.34	17.28	17.44	17.44

くても心労が重なった直後だけに、ハードなスケジュールは極力避け、一生の思い出にぜひ心楽しい旅行を持ちたいものである。

【葬】彼岸入りから彼岸明けまでの「秋分の日」を中心とした七日間が秋のお彼岸である。先祖に感謝し手廻の供養や墓前の香華の手向け等を行う。暑さ寒さも彼岸まで、暑さの時もまず越えたものといえよう。

【祭】九月一日は「防災の日」これは大正十二年この日関東一円を襲った大地震によって、未曾有(みぞう)の災害が出たために、災害の怖さを銘記するよう定められた日である。

この月の下旬、旧曆八月十五日は「十五夜の望月」である。これを仲秋の名月というのは、七月を初秋と八月を仲秋、七月を晩秋といい、その八月の十五夜が満月だからである。

【敬老の日】九月第三月曜日(平成十五年実施)。社会に尽くしてきた老人を敬愛し「長寿を祝う日」また十五日が「老人の日」、十五日から二十一日までは老人週間(平成十四年実施)である。